

ひろまる“相談”サロン

毎月1回、白石各地で『ひろまる相談サロン(個別の道政相談会)』を開催中です。
今回は、北郷の「やっとかめ Pasta YattoKame」さんの一角で、
“個別のよろず相談会”を開催します。

※ご相談希望の方は、原則予約制(お一人30分)です。
事務所までお問合せください。(TEL:860-8666)
尚、差し支えなければ、事前に相談内容の概要をお知らせください。

◆日時 **4月16日(木) 13:00~16:00**
◆場所 コミュニティ・キッチン「ふい〜る」
(白石区東札幌2条5丁目8-13 2F)
◆参加費 ワンドリンク以上のオーダーをお願いしております。



※地下鉄 東西線「白石駅」1番出口から
徒歩3分 南郷通沿いのエネオス裏

地域・ラジオ放送局と、もっと活用はせんか?

《白石区》エフエムしろいし《83.0MHz》
毎週月曜日 10:30~11:30 『広田まゆみのすっきりマンデー』放送中!!

東日本大震災の時にコミュニティFM(地域のラジオ放送局)が、地域に貢献した事例に注目してきました。4期目から、地元白石区、お隣の厚別区のラジオ局とご縁ができ、毎週それぞれ1時間の番組を担当してきました。
小学生から、地元の企業・団体の代表の方など、さまざまな実践者の方に出演いただき、私自身が学ぶ過程を、みなさんにも情報「共有」しています。
非常時のためにも、日常的にラジオを活用する機会を増やしていきたいです。

小学生の2人は
準レギュラー(?!)

この日のテーマ「さっぽろ農業を応援しよう!!」

Facebook(ライブ)・YouTube(録画)でも、それぞれ配信中です!

《厚別区》FMドラマシティ《77.6MHz》
毎週水曜日 19:00~19:59 『広田まゆみのイノベーション北海道
~ひろまるつながるNPOな仲間たち』放送中!!



札幌乳児院ボランティア

お近くの方で、細く長く続けてくださる方を募集します!!

簡単な作業をお手伝いすることで、養育スタッフのみなさんが、
養育に専念できるように、下記のようなボランティアを続けています。

【とき】 毎週 水曜日・日曜日
10:00~12:00
※毎月、ボランティアメンバーでシフトを組みますので、
いずれかの曜日、月に1回でも構いません。

【ところ】 札幌乳児院(白石区川北2254-1)
※中央バス「白石営業所」バス停で降車、徒歩5分
SW東西線「白石駅」より 「白23(北郷線/JR白石駅北口経由)」
「白24(川下線/JR白石駅南口経由)」

《作業内容》※完全な裏方作業です!
子どもたちの洋服たたみと仕分け
玩具等の消毒・ウエスづくり
(※子どもたちとの直接のふれあいは、特別な行事のみ)

《その他》
交通費(※公共交通換算で実費支給)
※ボランティア保険の加入を各自お願いします。
※身分証明書などの提出をお願いする場合があります。

※詳しくは、広田まゆみ政務事務所までお問合せください。
TEL:860-8666(担当:水谷)



北海道
の底力
発進!



ひろまる通信

立憲民主党

北海道議会議員 広田まゆみの活動報告

2026年4月1日 ひろまる通信 号外

発行 広田まゆみ

住所 〒003-0025
札幌市白石区本郷通7丁目北1-28
TEL:011-860-8666 FAX:011-860-8667
E-mail: office@hiromaru.jp
URL: https://hiromaru.jp



幸福だから笑うのではない
笑うから幸福になる

雪とけとともに、新しい年度が
はじまりました。
春は、何かをよしのめとなる
季節ですね。政治の役割が
問われる今も、少くも
前に進んでいかなければ
なりません。
議会の議論も日々の
暮らしに反映してこそ
意味があります。
必要な変化を、着実に
進めていきたいと思います。

是っつながるぞ! 広田まゆみ 検索

北海道議会議員 広田まゆみ オフィシャルサイト
https://hiromaru.jp/

QRコードで簡単にアクセスできます!



フェイスブックページも更新中です!
▼ 広田まゆみ
https://www.facebook.com/mayumihirotta.94
▼ 北海道議会議員 広田まゆみ政務事務所
https://www.facebook.com/hiromarujimusyo
X (旧 Twitter) やってます! @hirotamayumi

ひろまるシネマ in リファインド

《地球》と《地域》と《自分》のために、新しい選択肢をつくっていけるような映画をいっしょに見ませんか?

急速に悪化する地球環境。2040年の地球はどうなっているのだろうか?
問題の“解決策”に焦点を当てたリアルな未来想像型ドキュメンタリー映画『2040
地球再生のビジョン』を上映します!

★公式サイト <https://unitedpeople.jp/2040/>

《とき》 **4月17日(金)** ※各回とも定員12名
昼の部 15:00~ / 夜の部 18:30~

《ところ》 珈琲淹リファインド ※地下鉄 東西線「菊水駅」より徒歩7分
(白石区菊水8条2丁目1-35/TEL:011-825-9461)

《参加費》 500円 + ワンドリンク以上のオーダーをお願いいたします。




◎ひろまる通信ご希望の方は
FAX番号またはご住所をお知らせ下さい。
TEL:011-860-8666
FAX:011-860-8667



《白石区》 毎週月曜日 10:30~11:30
『広田まゆみのすっきりマンデー』放送中!!
エフエムしろいし《83.0MHz》
《厚別区》 毎週水曜日 19:00~19:59
『広田まゆみのイノベーション北海道
~ひろまるつながるNPOな仲間たち』放送中!!
FMドラマシティ《77.6MHz》



1. 第32期 道議会の幕開けと

「社会企業家的地方議員」の決意

2023年5月、北海道議会は第32期の歩みを始めました。札幌市白石区選出の広田まゆみは、5期目の当選を果たし、これまでの経験と学びを北海道の自立のために捧げる決意を新たにしました。広田が掲げるキーワードは「社会企業家的地方議員」です。これは、中央政治からの予算配分を待つのではなく、地域にある課題を「新しい仕事やサービス」に変え、地域を耕していく存在を指します。ドロッカーの「私的な強みは公益になる」という言葉を指針に、自分自身の「学びの場を作る力」を道政に活かす挑戦を続けています。

2. 「4つの挑戦」：北海道をアップデートする具体策

今期、広田が最優先で取り組んでいるのは、4つの重点目標です。これらは単なる公約ではなく、北海道の持続可能性を左右する本質的な課題です。

① 森や自然を活用した「自然保育」の確立

北海道の豊かな自然は最大の強みですが、実は「森のようちえん」のような自然保育制度の導入において、北海道は先進県に後れを取っています。

＜現状と課題＞すでに17県が自治体ネットワークに参画していますが、北海道ではまだ自主保育（公的な支援が乏しい状態）の枠にとどまっています。

＜広田の提言＞2023年4月に施行された「こども基本法」を機に、自然の中での遊び・学びを保障する制度の導入を求めています。これは不登校対策や、自然体験を重視する子育て世代の移住促進にも直結する戦略的な政策です。

② 「地域循環型経済」へのシフト

「大きなお金」を呼び込むだけでなく、地域内で「お金を回す」仕組みづくりを提唱しています。

◇漏れバケツ理論の克服

食やエネルギーなど、北海道の強みを活かした独自の持続可能な発展をめざします。

◇具体的な「ものさし」

50年、100年先を見据え、地元の食材（酒、小麦、木材など）の活用率を高めることや、宿泊施設内だけで完結しない「まち歩き」型の観光推進など、地域への経済波及効果を重視した政策を提案しています。

③ 災害に強い地域づくり（エネルギーと情報）

2018年の全道停電（ブラックアウト）の教訓を風化させず、市民一人ひとりが備えられる体制を推進しています。

◇DIY型独立電源

大規模なエネルギー政策を待つだけでなく、家庭やコミュニティで通信環境程度の電気を確保できる「小さな太陽光発電」の普及をワークショップを通じて広めています。

◇情報のライフライン

災害時に正確な情報を届けるため、日常からコミュニティFMやSNSを使いこなす環境づくりを進めています。特に高齢者のSNS活用を「幸せ確認」の手段として推奨しています。

④ 社会企業家的地方議員100名の誕生

地域課題をイノベーションで解決するリーダーを育成しています。現在、賛同者はまだ少数ですが、市町村議会のなり手不足解消のためにも、この新しい議員像を全道に広げるべく、学習会を継続しています。

4つの挑戦

3. 議会での質疑：子ども・環境・人権を守る

第32期においても、広田は文教常任委員会や予算特別委員会などで、道民の生活に直結する鋭い質問を行ってきました。

◇学校給食のオーガニック化

食料安全保障の観点からも、学校給食での地場産・有機農産物の活用を推進し、子どもたちの健康と地域の農業を守る議論を前進させています。

◇多様性を認め合う社会

「北海道障がい者条例」の検証や、すべての人が働きやすい労働環境の整備、誰一人取り残さない共生社会の実現に向けた質問を重ねています。

◇農林水産業の未来

有機農業の推進や、100年先の森を守るための「自伐型林業」の支援、障がい者雇用の推進についても具体的な提言を行っています。

4. 徹底した「見える化」と対話の場づくり

広田の最大の特徴は、議会の外での圧倒的な活動量と発信力にあります。

◇北海道未来セミナー（毎月22日）

1期目から続く学習会をオンライン化し、アーカイブとして公開。行政、NPO、議員が水平に関係性を築き、先進事例を学ぶ場をデザインしてきました。（休止中）

◇ひろまる相談サロン

白石区内の各地で、個別の道政相談会を継続。地域の切実な声を直接、政策に反映させるパイプ役を果たしています。

◇メディアを通じた発信

・ラジオ：「広田まゆみのすっきりマンデー」「イノベーション北海道」の2番組を担当。地域のNPOや社会企業家の活動を市民に届けています。

・Vlog・SNS：日々の活動を動画やブログで発信。最近では、火災に見舞われた江別市の大森銀座商店街を支援する基金のPRなど、困難に直面した地域に寄り添う活動も行っています。

◇専門紙への寄稿

自治体専門紙「自治日報」に「最後に住民を守るのは誰か」と題したコラムを執筆するなど、地方自治のあり方について全国的な視点でも発信しています。

5. 結びに

政治は、制度をつくることだけが目的ではありません。制度が機能しない現場にこそ足を運び、当事者の「強み」に光を当て、共に解決策を見つけ出していく。それが広田まゆみの目指す政治の姿です。

人口減少や気候変動といった大きな変化を、北海道が世界に誇れる大地へと進化するための「機会」に変えていくために。広田まゆみは、これからも白石区の現場から、そして道議会の議場から、一隅を照らし続けます。



《北海道未来セミナー》や《コミュニティFMラジオの番組》など、過去のアーカイブ動画も公式YouTubeチャンネルでご覧いただけます！是非ご登録ください。



令和8年 第1回定例道議会の予算特別委員会にて、道政の根幹を問う質疑を行いました。

そのエッセンスを質疑応答形式で報告いたします。

1. 障がい者の権利を守り、政策の主役へ（保健福祉委員会）

【広田】「北海道障がい者条例」施行から10年以上。虐待件数は減らず、地域づくり委員会への相談も減少傾向です。単なる会議の開催数ではなく、「道民の暮らしがどう良くなったか」を測る客観的な成果指標（KPI）を導入すべきではないですか？

【道側】相談内容は多様で、全てが解決に直結するわけではないため、成果指標の設定は難しい面があります。

【広田】「難しい」で済ませてはいけません。特に精神障がい分野では、当事者が政策決定の場に十分に参画できていません。がん対策条例のように、当事者を「権利の主体」として審議会等へ制度的に参画させる仕組みを担保すべきです。

【道側】委員の選定方法について検討を進めています。

【広田】さらに、公共調達でも、障がい者就労を支える企業を積極的に評価し、道としての社会的価値を明確に示すべきです。

2. 大規模投資から北海道の土地と水を守る（総合政策委員会）

【広田】半導体関連産業の進出による美々川流域の開発など、縦割りの現行法制度では限界があります。大きな投資が期待される今だからこそ、知事の発した共生のメッセージを単なるスローガンにとどめない広域的な土地利用管理が必要ではないですか？デジタル地図（GIS）を活用して情報を可視化・公開し、環境と開発を両立させる具体的な「土地利用ビジョン」を策定すべきです。

【道側】総合計画に基づき、部局間の連携を図りながら適正な土地利用の確保に努めます。



3. 「黒塗り」を排し、命を守る情報を公開せよ（総務委員会）

【広田】情報公開条例11条には、生命や健康を守るために必要な情報は、個人情報であっても開示する「義務」があります。しかし、過去5年間で適用実績はゼロ。この異常な事態をどう認識していますか？

【道側】個別に慎重に検討した結果、適用に至るケースがなかったものです。

【広田】現場任せの判断では「黒塗り」が増えるばかりです。住民がリスクを判断できるよう、公益性判断のガイドラインを道として示すべきです。先進的な鳥取県のように、請求を待たずに能動的に情報共有する姿勢こそが、今の道政に求められています。

【道側】研修等を通じて職員の理解を深め、適切な対応に努めます。

＜広田まゆみの視点＞

条例やルールは、作って満足するものではありません。実際に使われ、道民の命や権利を守る「武器」になってこそ意味があります。知事が掲げる「共生」という言葉が空念仏に終わらぬよう、これからも現場の視点から厳しくチェックしてまいります！

北海道議会議員 広田まゆみ オフィシャルサイトでは、「活動報告」のほか、これまでの「道議会議事録（録画配信あり）」も掲載していますので、併せて御覧ください。 <https://hiromaru.jp/>

ほほ

毎月「質問」しています。 ～ 前期は《 文教常任委員会／北方領土対策特別委員会 》に所属 ～

《2025(令和7年7月)》

◇総合政策常任委員会

- 政策評価について
- 協働推進基本指針について

◇人口減少問題・地方分権改革等調査特別委員会

- 北海道人口ビジョン及び北海道総合戦略について

《8月》総合政策／人口減少問題・地方分権改革等調査

- ほっかいどう応援団会議について
- 北海道創生総合戦略における社会減対策の在り方などについて

《9月》総合政策／人口減少問題・地方分権改革等調査

- 第4期北海道科学技術振興基本計画について
- 若者をはじめとする社会減対策などについて

《11月》総合政策常任委員会

- 北海道知的財産戦略推進計画について

《12月》総合政策常任委員会

- 北海道インフラ長寿命化計画について

《2026年1月》

◇総合政策常任委員会

- 水資源の保全に関する条例について
- ほっかいどう応援団会議について

◇人口減少問題・地方分権改革等調査特別委員会

- 地方創生の視点からの高校支援・人材育成予算の確保について

《2月》総合政策常任委員会

- 北海道グローバル戦略第二期（案）について

《3月》人口減少問題・地方分権改革等調査特別委員会

- ジェンダー・ギャップと人口減少について

令和7年 第3回定例道議会 予算特別委員会第2分科会

【水産林務部所管】

- 100年先の森を守る林地開発許可について
- 自伐型林業について
- 漁業経営体の育成・人材確保について
- ブルーカーボンなどについて

【経済部所管】

- 地域共生型新エネルギーの導入促進について
- ゼロカーボン推進のためのデジタル技術の活用について

令和7年 決算特別委員会

【企業局】、第2分科会【建設部】【水産林務部】【農政部】【経済部】所管での質問結果は、議事録とともに「録画配信」も公式サイトに掲載。



後期は《 総合政策常任委員会／人口減少問題・地方分権改革等調査特別委員会 》に所属